

<会員による自著紹介> \*紹介者である会員

## 大学生のための文章表現&口頭発表練習帳

銅直信子<sup>1)</sup> (口頭発表執筆)  
坂東実子<sup>2)\*</sup> (文章表現・ことばの  
ドリル・敬語のドリル執筆)

<sup>1)</sup>敬愛大学・城西国際大学(非常勤)

<sup>2)</sup>敬愛大学・東京外国語大学(非常勤)

国書刊行会(2013年発行)

定価 1,600円(税別)



本書は、大学初年次教育「文章表現」・「口頭発表」の授業の実践の中で作成されたトレーニングテキストである。各課に「見本」・「型(設計図)」・「セルフチェック表」が用意されている。学生たちが「どんなことをどのように表現すると、相手によりわかりやすく伝わるか」という表現の基本を学ぶ上で、取り組みやすい。また、付録「ことばのドリル」・「敬語のドリル」は、弱点強化に役立つ。

大学入学前から、多くの論理的な文章や学術的な口頭発表に触れ、十分なインプットがなされていた学生にとっては大学で表現することもそれほど難しくないが、近年、そのインプットがほとんどないままに大学に入学する学生も増えている。彼らには論理的に物事を考え、論理を組み立てながら表現する経験がほとんどない。本書には、そのような不安を抱えた学生たちに基本的な表現方法をインプットし、着実に力をつけていける様々なトレーニングが組まれている。「箇条書き⇔文章」を書き換える、「主観・客観」を書き分ける、「対立項」や「時間軸」を明確にする、「YES・BUT方式」で意見を述べる、描写に「明暗」のコントラストをつける、展望に「遠近」(遠い達成目標、手近な努力目標)をつける、「他者や未来に開く」ようにまとめる、など、相手にわかりやすく伝えるための論理的な文章の基本を学ぶことは、彼らを自己中心的な思考から脱却させ、大学で本格的に学ぶための下準備を整えさせることに役立つだろう。また、各課に、10項目(技能4、内容6)からなる「セルフチェック表」を導入しており、説明をしっかりと聞いて取り組めばかなり簡単に高得点が獲得できるため、授業に積極的に参加するようになる。採点がシンプルで明瞭なものとなるため、教師の負担もかなり軽減できるだろう。

本書が、「表現」が苦手な、霧の中をさまよっているように自信が持てない学生たちの、前に進む手掛かりとなれたら幸いである。